

学修支援

保健管理センター（キャンパスマップ③）

学生の心身の健康を保持するため、**check** 機能として健康診断を、**cure** 機能としては日常診療を行い、**care** 機能として生活指導・健康教育を充実させ、これらを相乗させ健康増進(health promotion)を目指すよう、大学会館の2階に保健管理センターがあります。

センターには、診察室・健康相談室・学生懇話室・休養室が配置され、内科医師・看護師各1名が常勤しています（他に、3名のカウンセラー、1名の看護師が非常勤）。

1. 利用時間：

診察

診察時間	月	火	水	木	金
10:30～13:30	○(～12:00)	○	×	○	○
15:00～16:30	×	○	○	○	○

相談・休養・談話室 月曜日～金曜日 9:00～17:00

- 2. 診療：**身体的に異常があれば、遠慮なくセンターを受診して下さい。簡単な診断機器での対応や必要時は薬を処方します。当センターで対処出来ない病気や病態については、専門医や病院を紹介します。
- 3. 健康相談：**心の悩みがあれば、医師と看護師で相談に応じます。週に2回、専門のカウンセラー3名によるカウンセリングも行っています。秘密は厳守しますので、気軽に相談して下さい。
- 4. 健康診断：**一般定期健康診断（6月）やRI、エックス線、遺伝子組換え、有機溶剤、特定化学物質の特殊定期健康診断を行っています。日程など必要な事項は、電子メール・案内状・掲示板で連絡します。
（なお、当該年度内に人間ドックを受けられる方は、コピーを必ず保健管理センターにご提出ください）
- 5. 健康診断書の発行：**就職や進学に必要な健康診断書を発行します。一般定期健康診断時の全項目を検査していることが条件となります。発行は、附属図書館玄関ロビーにある証明書自動発行機または保健管理センターで行います。
- 6. セルフチェック：**センター受付前に、自動身長体重計・自動血圧計・自動視力計を常置しています。健康チェックに役立てて下さい。
- 7. 学生懇話室：**ボディソニック・テレビデオ・ミニコンポを常置しています。リラクゼーション、団欒・交流、観賞に活用下さい。
- 8. 休養室：**からだの不調などで休養をとりたい時は利用して下さい。
- 9. 無料と守秘義務：**センターの利用は全て無料です。設備・機器類は大切に扱って下さい。ただし、紹介された医療機関を受診される場合の医療費は、健康保険証扱いの自己負担となります。身体的・精神的相談も含め、全ての医療行為には守秘義務があり秘密は厳守します。
- 10. HCC NEWS（保健管理センターだより）：**HCC NEWS（保健管理センターだより）を年1回発行、配布しています。種々の情報を掲載していますので参考にして下さい。
- 11. 連絡先**
センター所長室：医師 寶學英隆（内線5105）
診察室受付：看護師 西山絹代（内線5108）

健康保持・増進のため、保健管理センターを活用下さい。

健康診断ならびに健康・安全教育

本学構成員に対し、健康の保持増進を図るため学校教育法に則り一般健康診断を、安全・衛生を確保するため労働安全衛生法に則り特殊健康診断を実施しています。

1. 健康診断

名称	区分	日程	対象	内容
一般健康診断 (※1)	情報科学研究科	6月23日(木)	学生全員	問診・診察、身体計測、視力・聴力検査、血圧測定、胸部X線検査、尿検査、血液検査
	バイオサイエンス研究科	6月24日(金)		
	物質創成科学研究科	6月27日(月)		
特殊健康診断	RI・X線健康診断 (※2)	(年2回) 第1回は一般定期健康診断時に、第2回は12月に予定	放射線実験従事者として登録の学生	問診、診察、血液検査
	遺伝子組換え健康診断 (※3)	(年1回) 一般定期健康診断時に併せて実施	遺伝子組換え実験従事者として登録の学生	問診、診察、血液検査
	有機溶剤健康診断	(年2回) 第1回は一般定期健康診断時に、第2回は12月に予定	有機溶剤実験従事者で、使用頻度・取扱量から産業医が必要と判断した学生	問診、診察、血液検査、尿検査など
	特定化学物質健康診断	(年2回) 第1回は一般定期健康診断時に、第2回は12月に予定	特定化学物質実験従事者で、使用頻度・取扱量から産業医が必要と判断した学生	各特定化学物質に定められた問診、診察、血液検査、尿検査など

※1：健康診断証明書の交付には、この一般健康診断時の全項目を受検していることが条件となります。

※2：RI・X線健康診断を受検していないと放射線実験はできません。

※3：遺伝子組換え健康診断を受検していないと遺伝子組換え実験はできません。

2. 健康・安全教育

健康の保持増進を図り、安全・衛生を確保し、安全意識の高い学生を世に送り出すため全学的な健康・安全教育を行っています。

名称	区分	日程	対象
健康教育	フィジカルヘルス・メンタルヘルス	6月28日(火) 4時限	新入学生全員
安全教育	安全教育(共通編)	4月6日(水) 4～5時限	
	安全教育(実験編)		

総合情報基盤センター (キャンパスマップ⑧)

総合情報基盤センターは、日本における最も高度な情報処理環境の構築を目指しています。情報処理技術の限りない可能性と自由な発想を妨げない柔軟な利用環境が、高い創造性を持つ研究活動の推進力になると考えました。本センターの設計思想は、自然回遊の持つダイナミズムをコンセプトにした三つの原理、「最先端の研究プラットフォーム」、「高いモビリティ」、「協調分散処理環境」に基づいています。

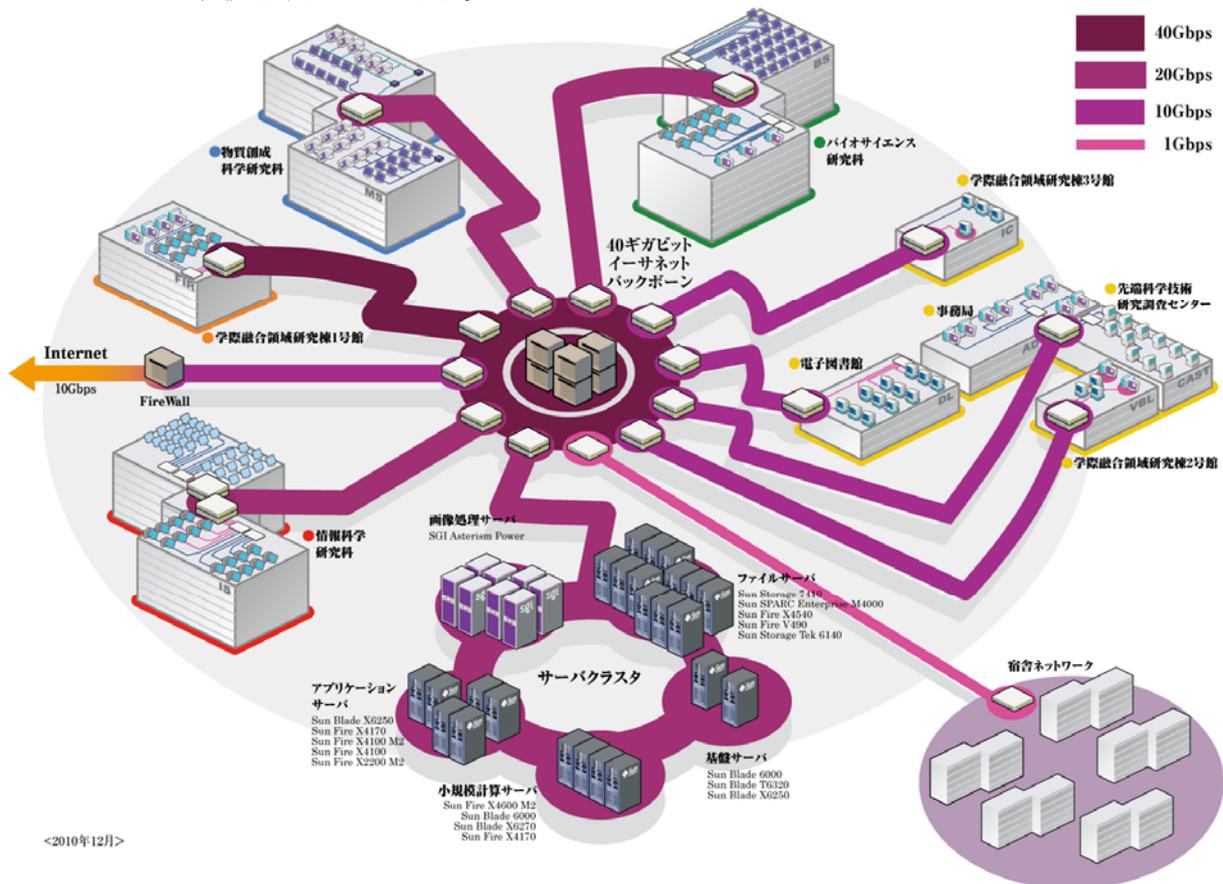
曼陀羅システム

本学の全学情報環境設備には「曼陀羅」システムという名称がつけられています。曼陀羅は、密教における無限小の求心が逆に無限大の拡散につながる真理を意味しています。本学におけるシステムは、利用者のニーズに基づいたシステム展開と、先進的な環境構築のために戦略的なアーキテクチャ構成を行っています。また曼陀羅が表わす過不足のない充実した状態の達成を基本理念として、研究者から見た情報処理環境「曼陀羅」の構築を進めています。

曼陀羅ネットワーク

全学情報環境設備「曼陀羅システム」の基盤を支えるのが曼陀羅ネットワークです。さまざまな機能を持ったシステムを集約した曼陀羅システムは、四千台を優に越える端末を備えており、それらの間での円滑な通信を確保することが曼陀羅ネットワークの至上命題です。また、より密接な資源共有や高品位のマルチメディア通信を実現するために、その時々技術水準における最高の通信速度と品質が追求され続けています。

曼陀羅ネットワークでは、超高速キャンパス基幹ネットワークとして、40G ビット/秒の速度帯域のバックボーンを有し、各研究室のフロアに対しても 10G ビット/秒の速度帯域を提供しています。また、キャンパス全域で、50M~100M ビット/秒の無線 LAN が使用できます。インターネットにも対外 10G ビット/秒の高速専用回線で接続しており、国内外の様々なサイトとの超高速通信を可能にする充実したインターネット接続を確保しています。



附属図書館 (キャンパスマップ②)

附属図書館は、先端科学技術 (情報科学、バイオサイエンス、物質創成科学) に関する教育・学術研究活動を支援するために設立されました。必要な学術情報を迅速に提供するため、資料をデジタル化 (電子化) し、ネットワークを介して24時間提供する「電子図書館」を構築しています。テキストだけでなく、音声情報、映像情報を含むマルチメディア情報を、統合化してデータベースに蓄積し提供していますので、WWW (World Wide Web) のブラウザ環境があれば、いつでもどこからでも利用いただけます。図書や雑誌の書誌・所蔵情報や目次情報だけでなく、全文をそのまま画像イメージで、研究室などの端末から検索・閲覧することができます。

また図書や雑誌を冊子体で提供する従来型の図書館サービスについても、本学の教職員および学生は24時間利用できます。

電子図書館の主なサービス

1. MyLibrary 機能

利用者一人一人の利用形態にあわせて、専用のページを構築できます。これにより、定期的に参照しているコンテンツ、自分自身の検索履歴等の管理、オンラインコンテンツの管理が行えます。また、電子図書館内に格納された資料とオンラインジャーナルを横断的かつ効率的に検索・管理することができます。

2. 学内生産物の組織的な保存、管理

学内の教員、研究者および学生などが生産するテクニカルレポート、科学研究費補助金研究成果報告書、学位論文などの研究成果、また学内で行われる招待講演なども、著者または講演者から、インターネット経由で利用する許諾を得た上で、デジタル情報として収集し、データベース化することで一元的な保存、管理および提供を可能にしています。

3. 大学における教育活動との直接的連携

研究科における授業をデータベース化して公開する取り組み「授業アーカイブ事業」を平成17年度から行っています。

4. メディアセンター機能

雑誌・図書などの画像情報・文字情報ならびにビデオテープやDVDなどの映像音響情報をデジタル情報として一元的に管理することによって一体的に利用することができます。

5. 高度な情報検索

書誌・目次・抄録情報のみでは実現不可能な、本文情報を含めたきめ細かい高度な検索機能を提供しています。

6. リアルタイムでの利用

ネットワークを介して、デジタル資料を時間的遅延なしに入手することができます。

7. 同時利用の実現

デジタル資料は貸出中の心配がなく、複数利用者が同時に閲覧できます。

8. 新着情報通知機能 (SDI)

本文テキストをデータベース化することにより、利用者があらかじめ登録したキーワードに合致する資料の新着情報を電子メールで自動通知します。



けいはんな学研都市見学ツアー

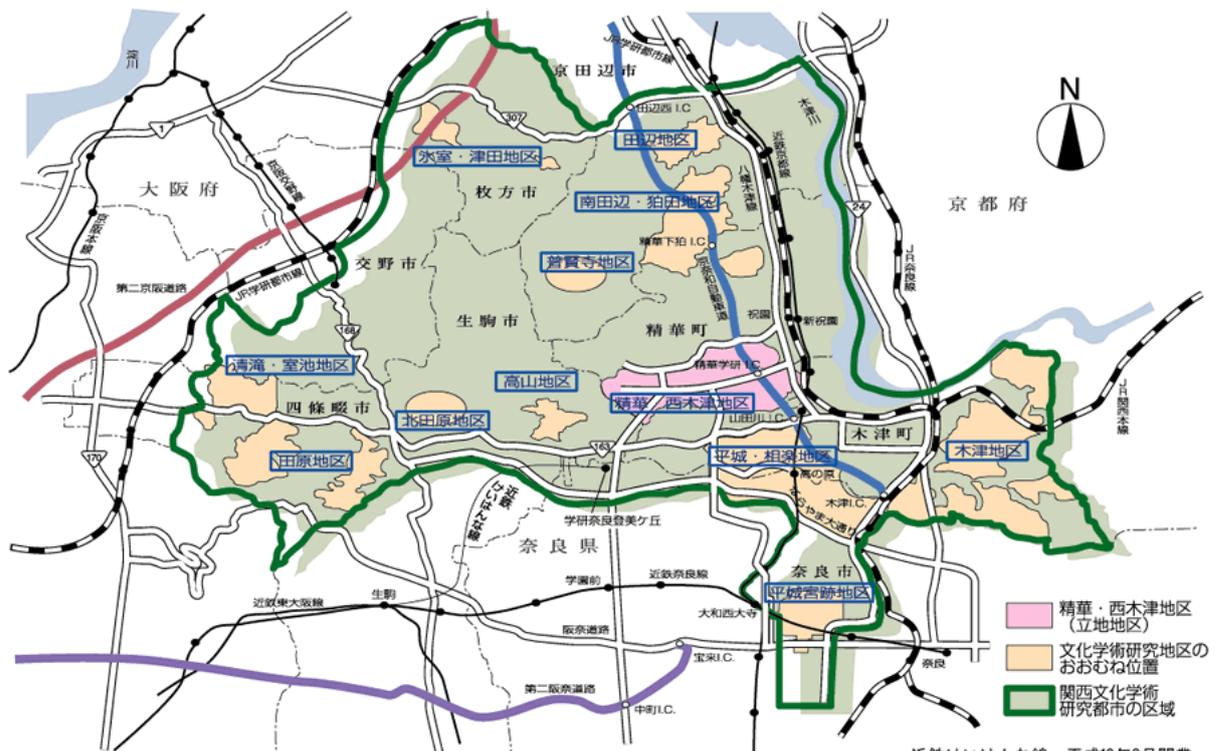
本学が、サイエンスが集積されている「けいはんな学研都市」に立地している特性を活かし、「けいはんな学研都市」における産学連携の現状を知ることで、今後の研究活動に役立てることや、新入生同士の親睦を深めること等、修学上、印象に残るツアーとなることを目的として実施しています。

区分	日程	対象	内容
情報科学研究科	5月12日(木)	新入生全員	バス貸切による 見学ツアー
バイオサイエンス 研究科	5月17日(火)		
物質創成科学 研究科	5月19日(木)		

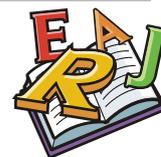
けいはんな学研都市とは？

「けいはんな」(けいはんな学研都市)とは、「関西文化学術研究都市」の愛称のこと。「関西文化学術研究都市」は、京都・大阪・奈良の3府県にまたがる京阪奈(けいはんな)の丘陵地帯にあり、計画的な開発による美しい街並みが広がっています。大阪、京都の都心までのアクセスは30～40分。近年、ショッピングセンターや総合病院などの開設が相次ぎ、都市的な利便性が高まりつつあります。文化学術研究都市である「けいはんな」には、先進的な研究施設や文化施設が集積し、活発な研究活動や新産業創出への取り組みが行われています。

財団法人 関西文化学術研究都市推進機構
けいはんな学研都市ポータルサイト より抜粋



近鉄けいはんな線…平成18年3月開業



1. ALC NetAcademy 2 とは

ALC NetAcademy 2は LAN 環境で使用するネットワーク型の英語学習システムです。英語力の向上、TOEIC テスト対策、理工系の論文読解等、自学自習に役立ててください。

学習者は各自の英語レベル、興味ある教材、リスニング・リーディングなど強化したい分野を選んで学習が可能です。

2. 利用対象者

本学の学生・教職員であれば「在学生の皆様へ(学内専用)」ホームページから利用することができます。学内はもちろん、自宅などの学外からも 24 時間利用することができます。利用登録等は必要ありません。

3. アクセス

「在学生の皆様へ(学内専用)」ホームページのその他「ALC NetAcademy」からログインしてください。
(<http://itcw3.naist.jp/NetAcademy/NetAcademy.html>)

アカウント・パスワード：曼陀羅システムと同じアカウント・パスワードで利用できます。

4. コース

スーパースタANDARDコース、STANDARDコース、初中級コース プラス、
技術英語<基礎>コース、技術英語パワーアップコースの5つのコースを利用できます。

5. 動作環境

NetAcademy2 は以下の環境で動作確認ができています。

OS	Windows XP SP2 / VISTA ※
WWW ブラウザ	Internet Explorer 6 / 7
その他	FlashPlayer 9.0

※対象 OS 以外でも FlashPlayer が動作すれば利用できるようです。ただし、表示がおかしい等の不具合が発生する可能性があります。

※MacOS X 10.3/10.4 では 『[初中級コース]の[TOEIC(R) テスト演習]で学習できない』 という症状が確認されています。

